

教科目名 技術経営論 (Engineering Management System)

専攻名・学年 : 全専攻 2 年 (教育プログラム 第 4 学年 ○科目)

単位数など : 選択 2 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 福永 圭悟

授業の概要			
安定した企業経営とは何か, 企業経営への基礎, 生産システム改善・発展の方法を学習する. 志の高い技術者は生産活動システムについて日々何を考え, 行動しているかを学習する.			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E2), JABEE 目標 (d2a)	
(1) 企業の生産システムを理解し, 生産性向上に対する考え方を身につける. (定期試験と課題) (2) 企業, 組織, 生産活動を拡大・発展させる基礎的事項を修得する. (定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	実務作業	出張報告書の書き方.	【理解の度合い】
2	技術経営論	テキスト「技術経営論入門」を輪講形式で学ぶ. 事前準備と Q/A によって理解を深める.	
3	技術経営論	同上	
4	技術経営論	同上	
5	技術経営論	同上	
6	技術経営論	同上	
7	技術経営論	同上	
8	技術経営論	同上	
9	技術経営論	同上	
10	技術経営論	同上	
11	実務作業	クレーム報告書の書き方, 小集団活動と品質管理.	
12	特許	特許検索方法を修得する.	
13	特許	特許明細書作成方法を修得する.	
14	特許	特許明細書作成方法を修得する.	
15	後期期末試験 後期期末試験解答と解説	新製品開発提案書作成. 自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解.	
履修上の注意	講義の途中でもわからなくなったらすぐに質問してよいことにする. 自主的に学習すれば, 成長に限界はないことを認識すること. 各自の意見を尊重するが, 物事を批判的・建設的に考えること.		【総合達成度】
教 科 書	阿部隆夫, 「技術経営論入門」, 森北出版		
参 考 図 書	プリントなどの独自資料		
自学上の注意	新聞や TV などでの企業活動に注目しておくこと.		
関 連 科 目	情報ネットワーク, プロジェクト実験 I, センサ工学		
総 合 評 価	達成目標の(1)~(2)について, 定期試験成績 80%, 課題・レポート 20% により評価する. 総合評価が 60 点以上を合格とする. 尚, 再試験はし ない.		